# 第14回 軽井沢スキーバス事故対策検討委員会

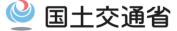
(第4回 フォローアップ会議)

### 参考資料(貸切バスによる交通事故の現況について)

平成31年3月29日「平成30年度事業用自動車に係る総合的安全対策検討委員会」会議資料(抜粋)

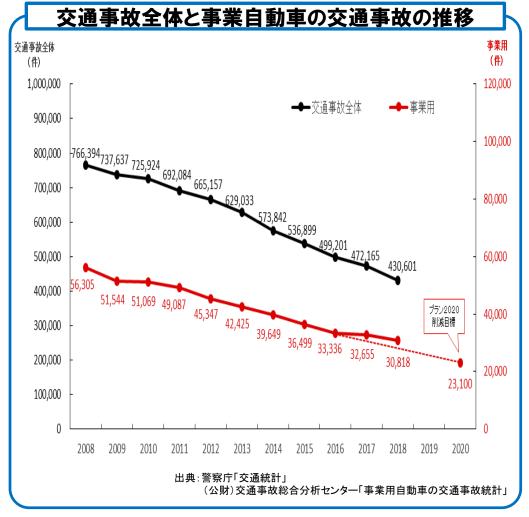
令和元年7月3日

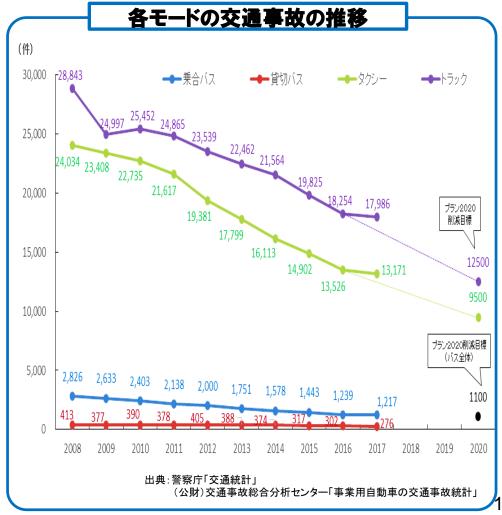




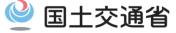
〇2018年中に発生した交通事故全体の件数(人身事故件数)は430,601件であり、そのうち、事業用自動車の交通事故件数は30,818件となった。(事業用自動車が第一当事者である人身事故件数)

〇各モードとも交通事故件数は<u>減少</u>しているが、<u>減少率の低下</u>が見られる。

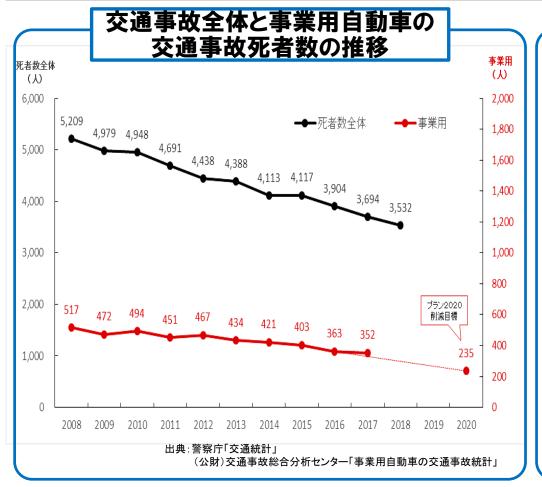


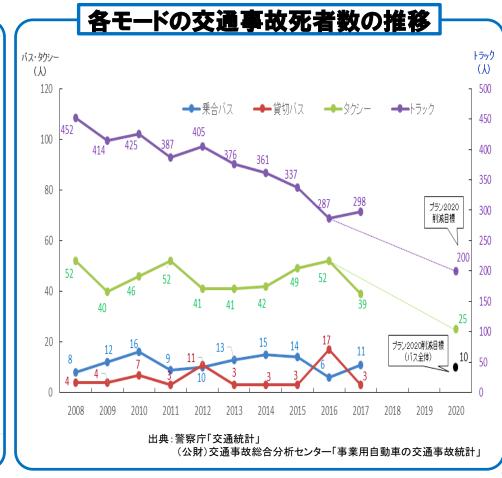


### 交通事故死者数の推移



- ○2017年中に発生した交通事故全体の死者数は<u>3,694</u>人であり、そのうち、事業用自動車の交通事故死者数は352人となっている。
- ○交通事故全体の死者数、事業用自動車の交通事故死者数とも、<u>減少傾向で推移している</u>が、<u>2017年は減</u> 少率の低下が見られる。
- ○2017年の各モードの交通事故死者数は、**タクシーは前年に比べ減少、乗合バス、トラックは増加している**。
  - ※貸切バスは2012年、2016年の数値が、それぞれ、関越道高速ツアーバス事故、軽井沢スキーバス事故により大きくなっている。

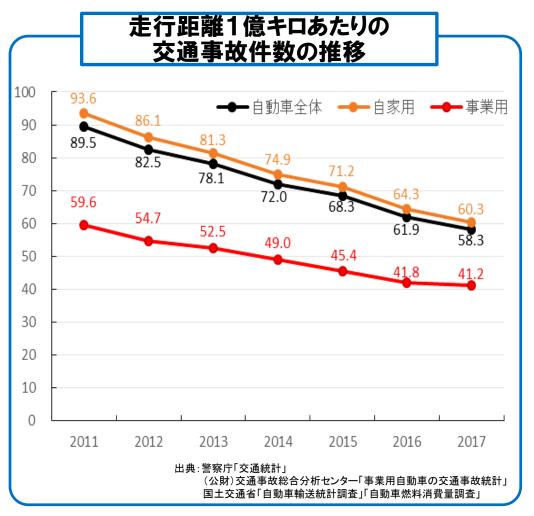




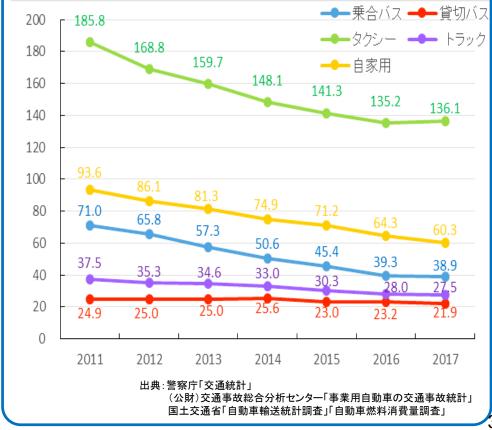
### 走行距離1億キロあたりの交通事故件数の推移



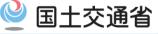
- 〇走行距離1億キロあたりの交通事故の件数は、**事業用が自家用の6~7割の件数**となっているものの、事業用 の減少率の低下が見られる。
- ○各モードごとでは、**タクシー**の件数が多く、減少傾向で推移しているが、2017年は増加している。乗合バスに ついても減少傾向で推移しているが、2017年は減少率の低下が見られる。



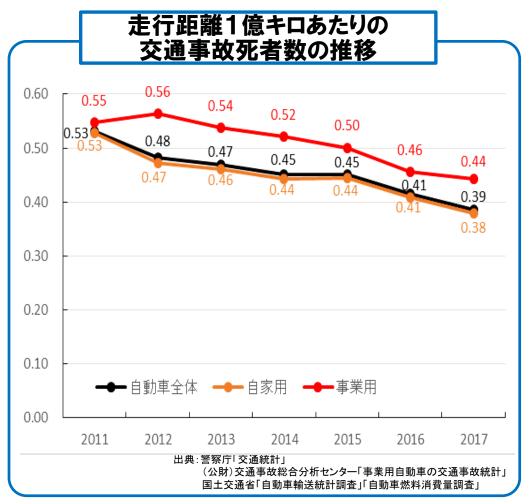
#### 各モードの走行距離1億キロあたりの 交通事故件数の推移

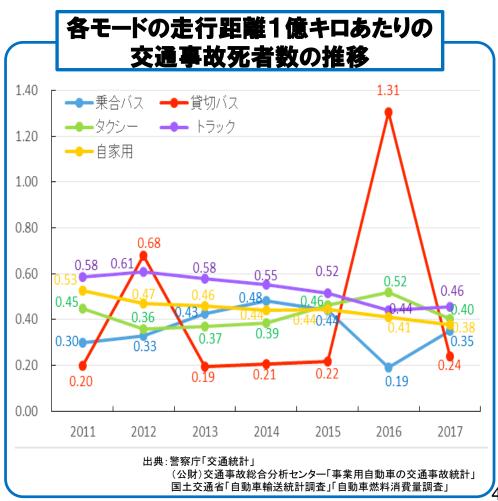


### 走行距離1億キロあたりの交通事故死者数の推移

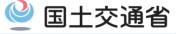


- 〇走行距離1億キロあたりの交通事故死者数は、<u>事業用が自家用を上回っている</u>。いずれも<u>減少傾向</u>である。
- 〇各モードごとの2017年の数値は、乗合バスとトラックは前年より増加、タクシーは減少した。貸切バスは2012年、2016年の数値が、それぞれ、関越道高速ツアーバス事故、軽井沢スキーバス事故により大きくなっている。

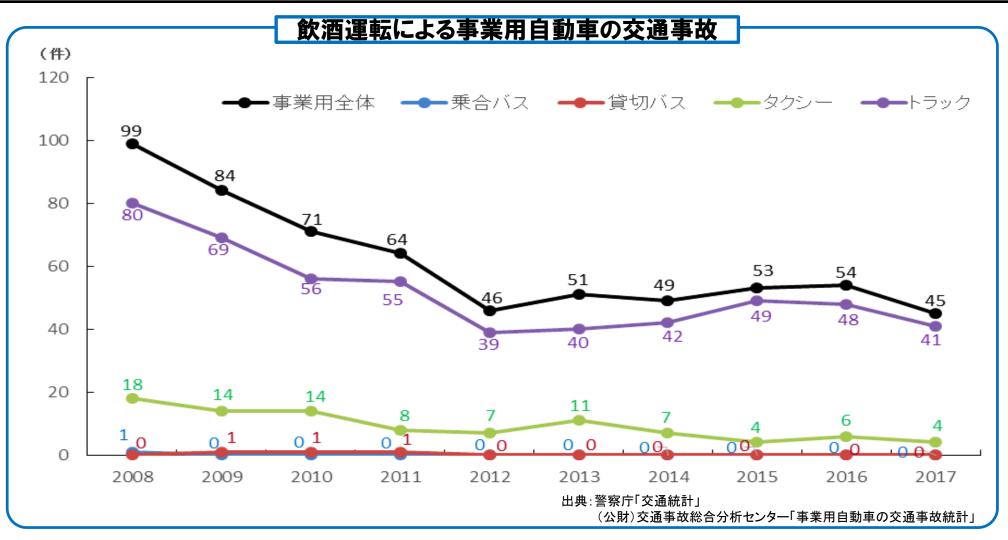




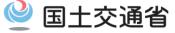
## 飲酒運転による事業用自動車事故の推移



- 〇飲酒運転による事業用自動車の交通事故は、2012年までは減少しており**それ以降は横ばい傾向**である。
- ○飲酒運転による<u>バスの交通事故は2012年以降発生しておらず</u>、タクシー、トラックは<u>前年より減少</u>した。



# 貸切バスによる交通事故について



- 貸切バスによる交通事故は<u>減少</u>しており、<u>他車との事故が最多</u>となっている。
- 平成29年は事故類型のうち、**追突事故が最多で83件**発生しており、貸切バス<u>事故全体の30.1%</u>を占めている。
- 死亡事故は近年3~4件前後で推移しており、平成29年の死亡事故は全て人との事故であった。

